

「さがら病院宮崎」

SAGARA HOSPITAL MIYAZAKI



■建築コンセプトの徹底的な実現

本PJは同系列の病院である相良病院(鹿児島市)に次ぐ全国で2番目となる特定領域がん診療連携拠点病院の認定を目指した宮崎市内の既存病院建替え計画である。『ウェルネス・ヴェール』をコンセプトとし、周辺に呼応する外構、高千穂の天岩戸をイメージしたエントランスなど自然を感じられる内装、食堂・ホールに面した屋外テラス、病棟には光庭を計画する事で関係者が活き活きと過ごせる場を計画した。特に跳ね出し部の外装孔あき金属パネルはコンセプトの『ウェルネス・ヴェール』を体現し、また地域のアイコンとして愛される要素として関係者一同で作り上げた。

■居住性と施工性に配慮した計画

本建物は4階建ての病院で居住性と経済性を考慮してRC造を採用。GL-25m付近で圧密沈下の恐れがある粘土層があり、摩擦強化型を採用した摩擦杭にて設計した。構造スラブにはニューフェローデッキを採用しており、工業化製品を活用した施工性向上を図っている。2、3階の一部が曲面の跳ねだし架構となっており、約3mピッチの片持ち梁にて最大4mの曲面的な片持ち架構を計画した。特徴的な外装の穴あき金属パネルはRC造の躯体から鉄骨材を持ち出して支持し、意匠設計者とディテールを詳細に検討を行った。

■安全快適な医療環境の創出

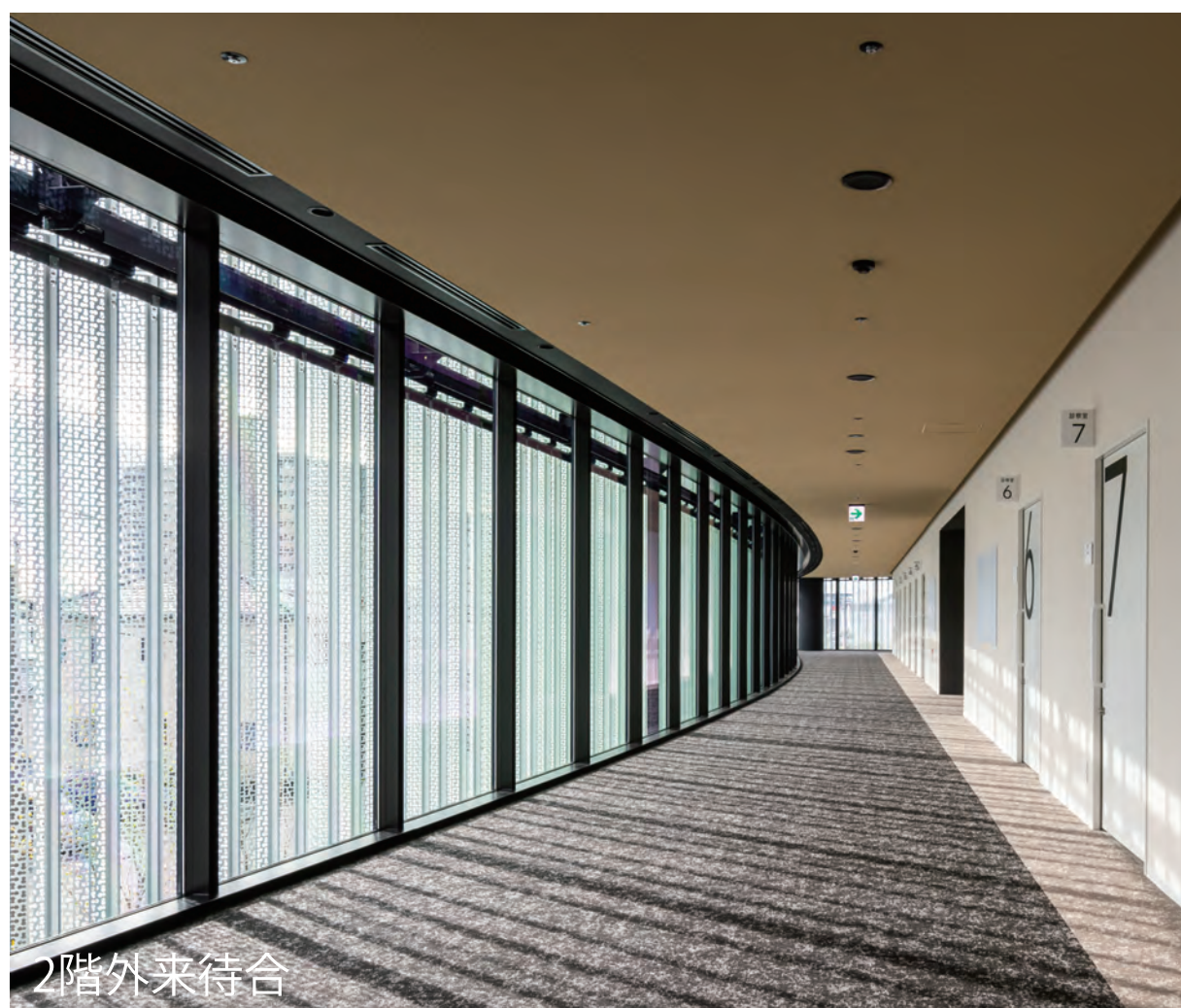
当院の理念である「地域に寄り添う医療」を設備面から支えることを目指し、安心・安全かつ快適な医療環境の実現に努めた。特に院内の空調(換気)は重要な役割があり、外気処理エアコンを活用する事で室内環境の向上、夏型結露対策、気流を作ることによって感染対策にも配慮した設計とした。また、設備を設計するだけではなく、近年不具合の多い「夏型結露」について病院様と勉強会を開催し、除湿を優先した給気温度や時間設定を立案、不具合の低減と病院様の利便性向上を図った。

患者・医療従事者・地域がより活き活きと過ごせる場の創出

建物を優しく包む『ヴェールに込めた想い』それは、



4階病棟デッキコーナー



2階外来待合



1階エントランスホール



全体外観

■PROJECT DETA

所在地 宮崎県宮崎市
主要用途 病院
設計 戸田建設九州支店一級建築士事務所

敷地面積 7,929.42㎡
建築面積 1,992.99㎡
延床面積 6,779.13㎡
階数 地下1階（機械室）/地上4階
構造 RC造
竣工 2024年 10月

■PROJECT MEMBER

PM 鈴木 雄
意匠 久木元 大貴
構造 柿沼 貴博
設備 田口 文久 黒木 富幸